

## 校長挨拶

令和8年4月8日

校長 瀧澤 誠

このたび、萩谷 健 校長の後任として、4月1日付で大石中学校の第26代校長を拝命いたしました 瀧澤 誠(たきざわ まこと)と申します。着任してから改めて、本校が広大な大石地区の持つ豊かでのどかな自然とコミュニティの上で培われた、地域の皆様の温かな眼差しや御協力、御支援のもとで、名実ともに「大きな学校」であるということを感じるとともに、その校を任せられる者として身が引き締まる思いです。校長として「変化に対応しつつ、より良い未来に進む」ことを旨として全身全霊を尽くしてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

さて、昨今の社会変化は、コロナ禍を契機に一層加速度的に進み、その結果として事象や価値観等も多様性に富んだ社会構成となってきました。その中で起こる課題や問題も多様、かつ複雑で、その答えも1つとは限らない様相を呈しています。

こうした社会の中を「生き抜いていく」ということは、問題や課題に対して、それぞれが納得できる、最適な答えを導き出しながら、さらに、より良くするための道筋を付けつつ歩いていくことであると考えます。そのためには、私たち一人一人が自他を尊重するとともに、対話や議論を重ね、公平・公正な目をもって判断し、行動していく力を身に付けていくことが必要です。そして、この力を子供たちは、身近な家庭・学校・地域という小さな社会から学ばなければならないのであり、それが「平和的で民主的な国家及び社会の形成者を育てる」という教育の目的の持つ意味の一つであると考えます。

そのことを踏まえ、本校では今年度から学区内の小学校とともに「学級や学校の課題を見出し、折り合いをつけ、他者とよりよくかかわる児童生徒」という目指す児童生徒像を見据え、学校研究課題を「人間関係をよりよく形成するための協働的な学びの充実」と題して、小中一貫教育の視点から特別活動の研究を進めてまいります。

また、子供たちが社会を生き抜いていく力を身に付けさせていくことは、学校や保護者の皆様はもとより、地域の皆様も含めた「大人」に課せられた使命でもあると考えます。そのため、上尾市では「コミュニティスクール」が推進されており、本校においても学校と地域の皆様による「学校運営協議会」での更なる熟議を通して、「地域のための学校」・「学校のための地域」・「地域とともにある学校」・「学校とともにある地域」という視点から、学校・地域それぞれの強みや課題を相互に補完しながら学校・家庭・地域とのつながりをさらに紡ぎ、絆をより深め、三位一体となって子供たちの成長や地域の持続可能な発展にも力を尽くしていきたいと考えております。

新年度が始まり、これから家庭や地域の皆様方の御理解、御協力をいただきながら、全職員一丸となり、「チーム大石中」の心をもって80年目の伝統と歴史を創造し、より良い未来へと歩んでまいります。今後とも、本校の教育活動への御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げて、挨拶とさせていただきます。